

広島市議会議員  
母谷たつのり

## 謹啓

今年の夏は、例年の日照時間を大幅に下回り、農作物の成長に著しい影響を与えるとともに局的に襲った集中豪雨が全国各地で大きな被害をもたらしました。

そうした中、8月20日未明に広島市安佐北区と安佐南区で発生した土砂災害では74名の尊い命を奪い去る大災害となりました。この中には広島市消防局職員、道路交通局職員も含まれており、11月にはこの世に生を受けるはずだった新たな命も誕生させることができませんでした。このように多くの犠牲者を出した怒りや悲しみを何処へぶつけばいいのか言葉を見つけることも出来ず、痛恨の極みと言うほかありません。

昨今、異常気象と呼ばれる気候変動に人間の知力と協調が追い付いていない現状を目の当たりにして、全国で、いや世界中で自然災害の脅威にさらされていることが広島でも身近なものであると再認識させられる辛い体験と経験を強いられるようになりました。

今後は早急な復旧・復興に向けた渾身の努力を傾注し、国、県、市が緊密に連携することにより所期の目的を果たすとともに被災者の生活再建を強力に支援することが必要だと考えています。

また、9月27日には長野県と岐阜県にまたがる御嶽山(3067m)が大噴火し、噴煙は上空1万mまで達したと言われるなか火山灰が辺り一面を覆い雪景色のようになりました。行楽シーズンに入り登山客も増え、一足早い紅葉が始まったばかりでしたが、降灰に埋もれ噴石や火山弾、熱風と硫黄臭、火山ガスなどに加え、一部では火砕流も発生し多数の人々が不運に巻き込まれました。突然の自然災害に際して私たちは、公的機関の避難勧告や避難指示に頼ることなく、自らの判断と決断で危険を回避する行動をとることが大事です。

終わりに、このたび発生した大災害で犠牲となられた方々に対し心からご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々、ご親族に御見舞いを申し上げます。

謹白

## ● 定例会

## ● 広島土砂災害

**解**

## 定例会&lt;平成26年9月17日~30日&gt;

平成26年9月議会は、9月17日から30日までの14日間を会期とする日程で行われ、103億7千万円余りの一般会計補正予算案など2件、条例改正案9件、その他の議案7件、4件の報告等が上程されました。22日、24日、25日の3日間は一般質問を行い、2日間の常任委員会審査を経て最終日の本会議で原案どおり議決し閉会しました。

なお、定例会初日の冒頭、松井市長は土砂災害による被災者に対してお見舞いを申し上げると共に、今後の復旧に対する所信を述べました。また、国民健康保険料の算定にあたって国からの補填(ほてん)分35億円を考慮することなく新保険料を算定したミスに対して陳謝しました。

今定例会は、一般質問に立った11人全員が8月20日未明に発生した局所的集中豪雨、土砂災害に関する質問、発言が相次ぎ、災害対応一色の議会となりました。

幸い佐伯区では、増水による道路護岸の一部崩落はあったものの土砂災害による人的、物的被害はまったくありませんでした。この結果は単なる偶然でも幸運でもなく、平成11年の6.29災害以降、平成13年度から国が実施している「**広島西部山系直轄砂防事業**」の成果であり、地域住民は恩恵を受けていると確信しております。これは、衆議院議員 平口 洋氏が二度とこのような悲惨な災害が発生しないようにと尽力された事業であることを申し添えておきます。

今定例会では、緊急時に応じるために議会の議決を経ること

となく、市長判断により支出した災害廃棄物処理費、民有地災害復旧費などを含む69億4500万円余りの専決処分が承認されました。

また、仮置き場に一時保管されている土砂、がれき等の災害廃棄物について、中間処理施設で分別等を行った後、最終処分するための処理費86億円(平成27年度実施分)の債務負担行為の設定も合わせて承認されました。

定例会最終日には、土砂災害発生を受けて「復興財源に充てるため1000万円を確保する3.5%の報酬削減案」が議員提案(市政改革ネットワーク7人)されました。賛成少数で否決されました。

議会内では、①激甚災害の指定を受けて国・県・市の連携による対応で財源確保は見通しがたっている ②今年度行われる予定だった常任委員会、特別委員会の視察を取り止めるほうが(1700万円)効果が大きい ③議会改革で23年度から既に報酬の5%削減を実施中 ④市議会議員選挙を前にした有権者向けの単なるパフォーマンスだという批判が強まり、議会内の賛同は広がることなく共産党(3人)が同調するに留まりました。

今後は、一刻も早い復旧、復興に努めるとともに被災者の生活再建に全力を挙げることが重要です。また、今回の災害を大きな教訓とし、これまでに計画されている砂防ダム建設の早急な実施、ハザードマップや避難誘導など防災計画の見直しをハード、ソフト両面から早急に進めが必要です。そのためには、地元住民の理解と協力が不可欠であることは言うまでもないことですね。

あなたの声を聞かせてください。いい汗流そう! いい笑顔つくろう!  
**母谷たつのり** **ホットライン**

私が直接  
ご返事しますご意見  
ご要望は

TEL.929-9002

info@motani.jp

## 広島土砂災害

平成26年8月20日未明、広島市安佐北区6名、安佐南区68名、合わせて74名が死亡するという甚大な土砂災害が発生しました。

安佐北区では、可部東地区4名、桐原地区1名、三入南地区1名、安佐南区の内、八木地区52名、緑井地区14名、山本地区2名が亡くなるという大災害になりました。

前日から雷を伴って激しく降り続いた豪雨は、当日の午前1時21分に2回目の大雨洪水警報が発表された後に広島市災害警戒本部を設置しましたが、3時21分には山本8丁目で1回目の土石流が発生しました。

その後、緑井地区、八木地区、可部東地区でも相次いで土石流が発生しました。異常な豪雨に加え未明ということの不運も重なり救助は困難を極めました。午前3時から4時の時間雨量は安佐北区可部南部、東部で115mmを記録し、午前5時までの累加雨量は同地区で287mmにも上り、周辺地区でも同程度の雨量が降り続けたのは、バックビルディング現象の出現が指摘されています。

被災地では、民間住宅で全壊家屋、半壊家屋、床上浸水、床下浸水が合わせて392棟など多くの被害が発生しており、道路、橋梁、河川は946カ所、がけ崩れ328カ所が物的被害として確認されています。

安倍晋三首相は、8月25日午前、早速広島入りし広島県庁で松井一實市長、湯崎英彦知事と面会して被害状況の報告を受け、「被災者の方々に一日も早く安心した生活に戻っていただけるよう全力を尽くす」と述べました。その後、災害現場を視察するとともに避難所となっている安佐南区の小学校を訪れて被災者らを激励しました。

こうした甚大な被害に対して政府は9月5日の閣議で「**8.20広島土砂災害**」を激甚災害に指定し、山谷えり子防災担当相は6日、広島市北部の災害現場を視察しました。

気候変動による被害は、これまでの想定をはるかに超えて人命が失われていることから、今臨時国会で政府・自民党は「**土砂災害防止法改正案**」を提出し、成立を目指すことにしています。



最終処分する予定の出島処分場と第3工区

## Challenge 21 母谷たつのり事務所

〒731-5114 広島市佐伯区美鈴が丘西5丁目17番12号 TEL.929-9002 FAX.927-7080

広島市議会ホームページ [検索](http://www.city.hiroshima.lg.jp/gikai/) 検索してね！  
<http://www.city.hiroshima.lg.jp/gikai/>

市議会 TEL.504-2734  
自由民主党 FAX.244-5210

E-mail [info@motani.jp](mailto:info@motani.jp)

母谷たつのりホームページ [検索](http://www.motani.jp)  
<http://www.motani.jp>

「明るく、元気で、魅力ある広島」の実現！

